

# ブラジル・メキシコ・アルゼンチン 経済・金融概況 (2021年1月)

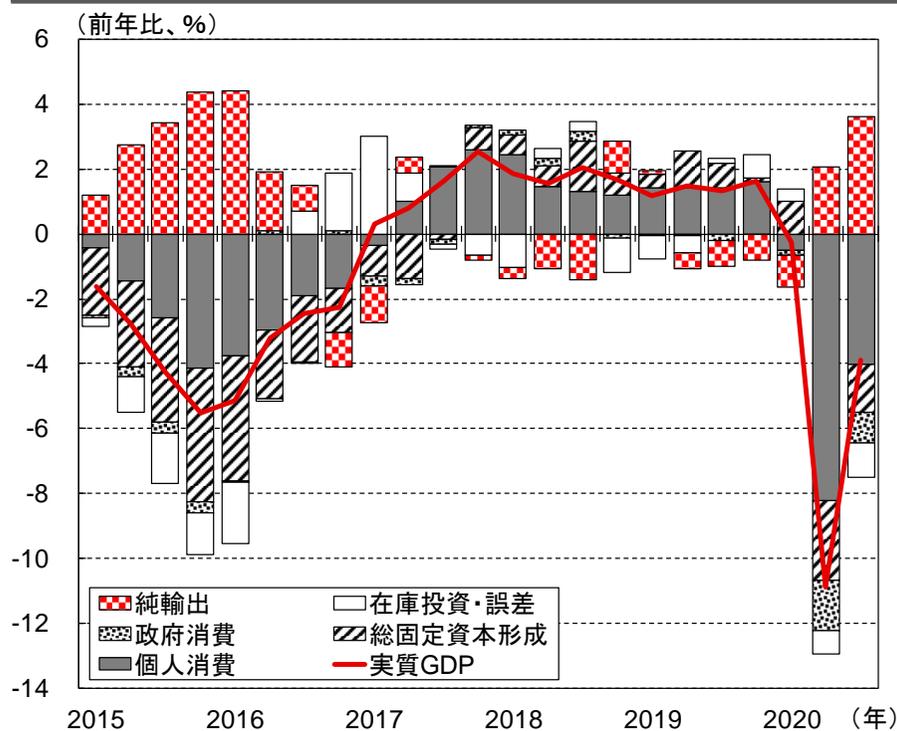
2021年1月22日

三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室

# 1. ブラジル (1) 景気概況

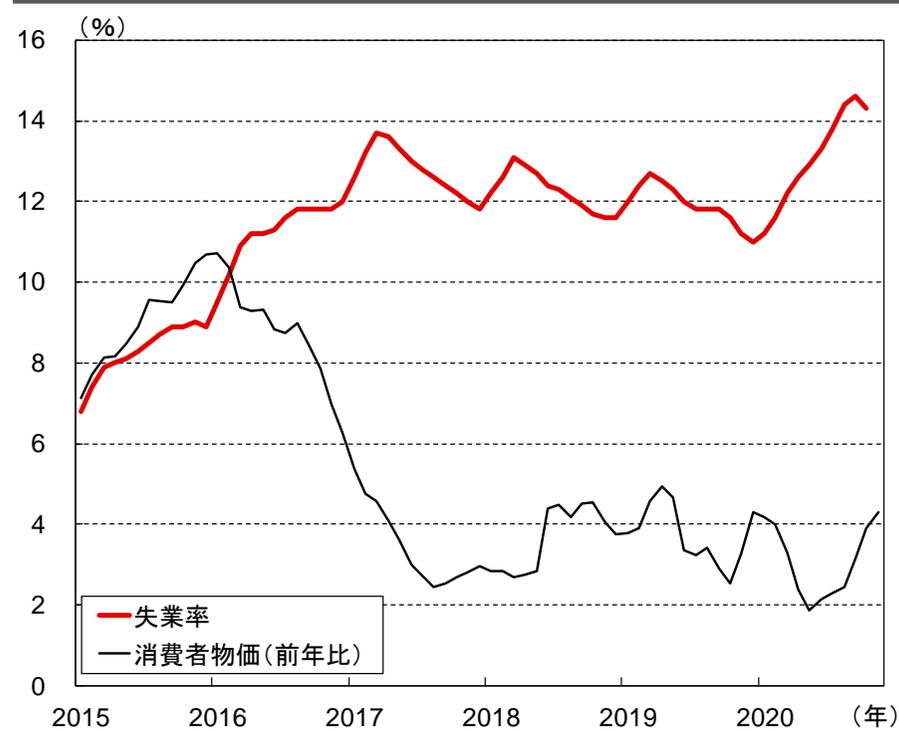
- 2020年7-9月期の実質GDP成長率は前年比▲3.9%と前年割れが続くも、前期(同▲10.9%)からマイナス幅が縮小。需要項目別に寄与度をみると、輸入が減少し純輸出のプラス寄与が拡大したことに加え、個人消費の同▲4.0%ポイントをはじめ、政府消費や総固定資本形成のマイナス寄与が縮小。
- 失業率は、コロナ禍を受けて大幅に悪化しており、昨年9月に2012年現行統計開始以来の14.6%まで上昇し、直近10月も前月比略横這いの14.3%。
- 消費者物価上昇率は、コロナ禍直後は低下したもののその後は拡大が続いており、昨年11月は前年比+4.3%(コアは同+1.9%)。中銀は、1月の最新見通しにおいても2021年・2022年通年の消費者物価上昇率をそれぞれ同+3.6%・同+3.4%と予想しており、物価上昇率は中銀の目標(同+3.75%±1.5%)の範囲内にて推移すると見込んでいる。

実質GDP成長率の推移



(資料)ブラジル地理統計院統計より国際通貨研究所作成

失業率と消費者物価上昇率の推移

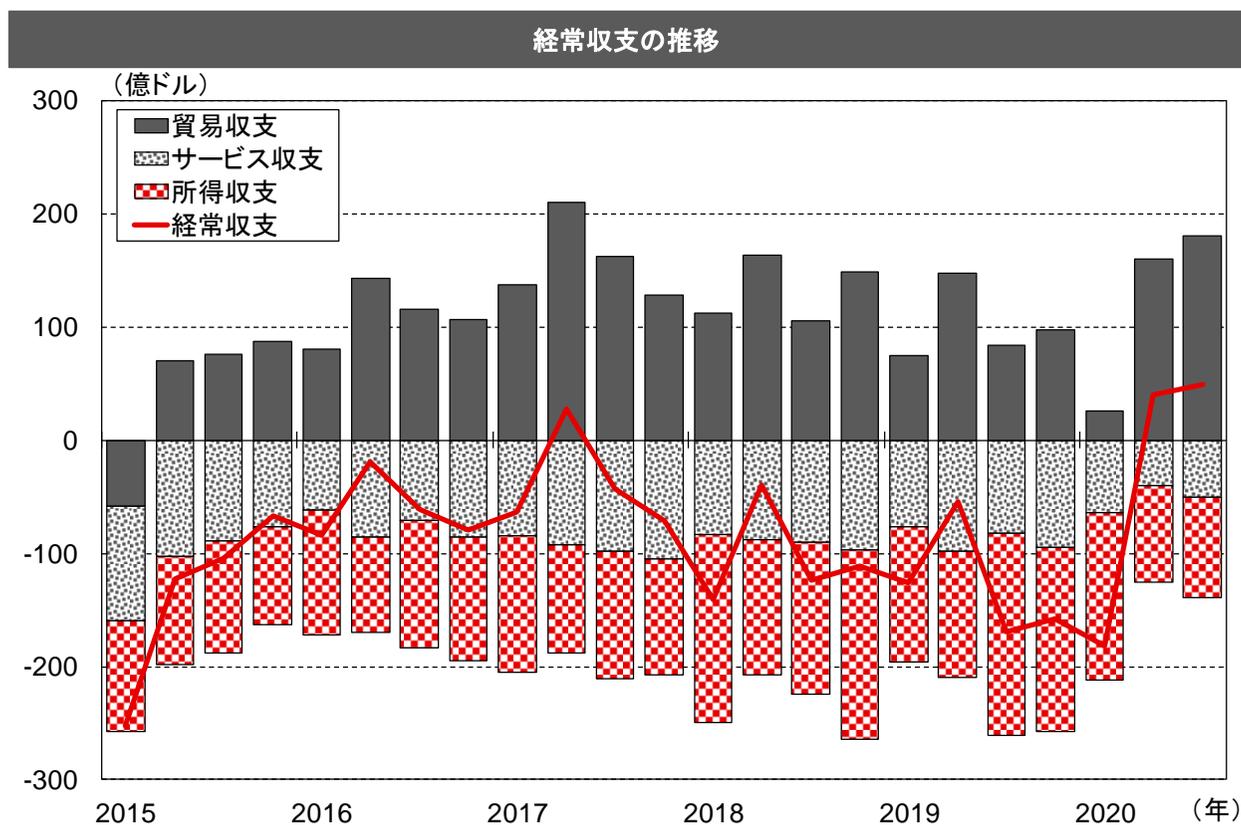


(注)『失業率』は未季節調整値。

(資料)ブラジル地理統計院統計より国際通貨研究所作成

# 1. ブラジル (2) 経常収支

- 2020年7-9月期の経常収支は+50億ドルと、前期から9億ドル黒字幅が拡大。サービス収支・所得収支の赤字幅は小幅に拡大したものの、貿易収支の黒字幅の拡大が上回った。
- 貿易収支は、輸入が減少したことから+181億ドルと、前期から21億ドル黒字幅が拡大。もっとも、月次データでは、昨年7月に+73億ドルまで拡大した後は緩やかに減少しており、直近11月は+29億ドル。
- サービス収支は▲50億ドルと、前期から赤字幅が9億ドル拡大。



(資料)ブラジル中央銀行統計より国際通貨研究所作成

# 1. ブラジル (3) 金融市場

- ブラジルレアルの対ドル相場は、昨年10月末に年初来安値圏である5.7レアル台まで下落。その後は、中銀が12月の会合で、フォワードガイダンスを近く廃止する可能性を示唆したことが材料視され、小幅に持ち直し。
- ブラジル中銀は、昨年8月に政策金利を2.0%に引き下げ、2020年通年の利下げは5回の累計で250ベーシスポイントとなった。直近の12月の会合では政策金利を2.0%に維持することを全会一致で決定、昨年末に期限切れとなった緊急経済対政策の効果が剥落することなどを理由に景気の先行きへ懸念を示した。
- ボベスパ指数は、昨年3月中旬に大幅に下落した後は足元まで堅調に推移。12月中旬にはコロナ禍前の水準を取り戻した。

ブラジルレアル(対米ドル)の推移



(資料) Thomson Reuters Datastreamより国際通貨研究所作成

株価(ボベスパ指数)の推移



(資料) Thomson Reuters Datastreamより国際通貨研究所作成

# 1. ブラジル (4) 経済・金融概況

## ブラジルの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2017	2018	2019	19/10-12	20/1-3	4-6	7-9	20/7	8	9	10
実質GDP成長率(前年比、%)	(1.3)	(1.8)	(1.4)	(1.6)	(▲0.3)	(▲10.9)	(▲3.9)				
経済活動指数○	135.75	137.55	138.46	139.03	136.95	123.02	133.39	131.22	133.35	135.59	136.75
鉱工業生産(前期比、%)○	(2.8)	(0.8)	(▲1.1)	(1.1)	(▲2.5)	(▲17.5)	(22.2)	(8.6)	(3.4)	(2.8)	(1.1)
設備稼働率○	(77.3)	(77.6)	(77.8)	(77.9)	(77.7)	(70.0)	(77.8)	(76.0)	(77.9)	(79.4)	(80.3)
小売売上高(前年比、%)	(2.1)	(2.4)	(1.9)	(3.3)	(1.7)	(▲8.0)	(6.3)	(5.5)	(6.2)	(7.3)	(8.3)
自動車国内販売台数(千台)	2,240	2,566	2,788	758	558	251	566	174	183	208	215
失業率(%)○	(12.8)	(12.3)	(11.9)	(11.3)	(11.7)	(12.9)	(14.3)	(13.8)	(14.4)	(14.6)	(14.3)
消費者物価上昇率(IPCA) (前年比、%)	(3.5)	(3.7)	(3.7)	(3.4)	(3.8)	(2.1)	(2.6)	(2.3)	(2.4)	(3.1)	(3.9)
卸売物価上昇率(前年比、%)	(▲0.5)	(6.6)	(7.3)	(5.5)	(8.9)	(5.2)	(18.6)	(12.6)	(18.2)	(25.3)	(29.1)
輸出(FOB)(億ドル)	2,177	2,393	2,254	558	484	527	552	195	175	182	177
(前年比、%)	(17.5)	(9.9)	(▲5.8)	(▲5.0)	(▲10.2)	(▲5.4)	(▲9.6)	(▲3.4)	(▲11.1)	(▲10.1)	▲9.3)
輸入(FOB)(億ドル)	1,507	1,812	1,773	438	440	355	349	115	111	123	124
(前年比、%)	(9.6)	(20.2)	(▲2.1)	(▲4.6)	(4.3)	(▲14.8)	(▲29.9)	(▲35.2)	(▲28.5)	(▲25.5)	(▲27.3)
貿易収支(億ドル)	670	580	480	121	45	172	202	80	63	59	54
経常収支(億ドル)	▲150	▲415	▲507	▲158	▲181	41	50	▲0	27	23	15
直接投資ネット流入(億ドル)	689	782	692	198	126	100	75	39	15	21	18
外貨準備高(億ドル)◎	3,588	3,614	3,393	3,393	3,230	3,272	3,374	3,341	3,369	3,374	3,351
ベースマネー(億リアル)◎	2,968	3,020	3,166	3,166	3,076	3,817	4,087	4,237	4,027	4,087	4,278
政策金利(Seric Target rate)◎	(7.00)	(6.50)	(4.50)	(4.50)	(3.75)	(2.25)	(2.00)	(2.25)	(2.00)	(2.00)	(2.00)
対米ドル為替相場◎	3.3171	3.87575	4.0227	4.0227	5.1866	5.4908	5.63645	5.2058	5.4859	5.63645	5.766
株価指数(ボブスノ指数)◎	76,402	87,887	115,645	115,645	73,020	95,056	94,603	102,912	99,369	94,603	93,952

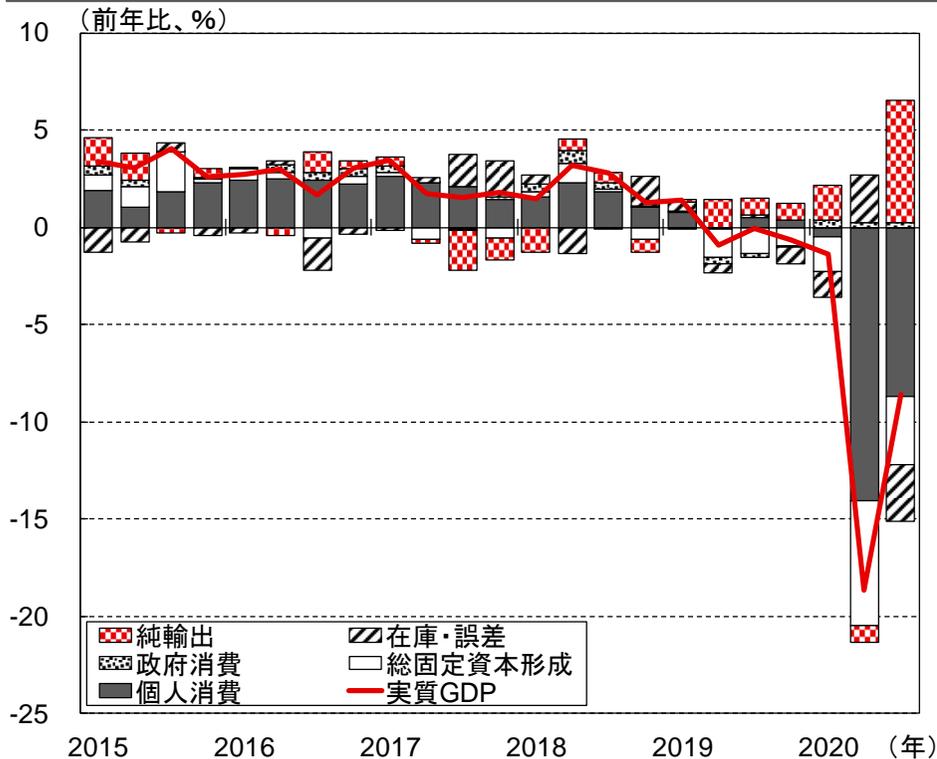
(注)◎印: 期末値、○印: 季節調整値

(資料)ブラジル中銀、ブラジル地理統計院(IBGE)、世界銀行、Thomson Reuters Datastream より国際通貨研究所作成

## 2. メキシコ (1) 景気概況

- 2020年7-9月期の実質GDP成長率は前年比▲8.6%と、6月からの経済活動再開を受け前期(同▲18.7%)から改善したが、6四半期連続のマイナス成長。需要項目別に寄与度をみると、輸入の減少により純輸出が同+6.2%ポイントとプラス寄与となったが、個人消費は同▲8.7%ポイント、総固定資本形成が同▲3.5%ポイントと前期に続きマイナス寄与に。
- 消費者物価上昇率はこのところ縮小傾向にあり、昨年11月は同+3.3%と中銀のインフレ目標である同3%±1%の範囲内に。中銀は四半期報告書において、コアインフレ率の上昇圧力が緩やかになってきていること、11月がこの1年で最も大きなディスカウント販売期間であったことを指摘。
- 失業率は、昨年6月に5.3%まで悪化した後、緩やかに回復しており直近11月は4.6%まで低下したが、コロナ禍前に比べ依然高水準。

実質GDP成長率の推移



(資料) 国立統計地理情報院統計より国際通貨研究所作成

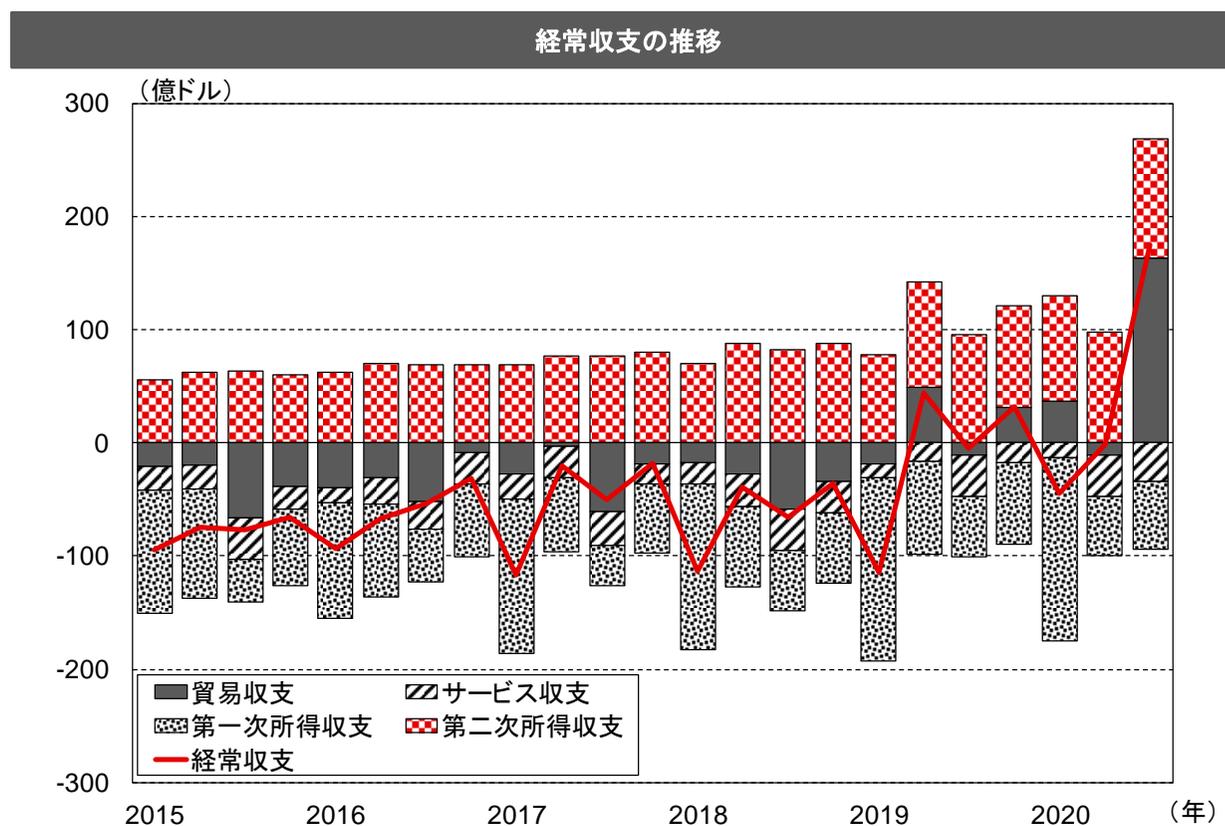
消費者物価上昇率と失業率の推移



(資料) 国立統計地理情報院統計より国際通貨研究所作成

## 2. メキシコ (2) 経常収支

- 2020年7-9月期の経常収支は+175億ドルと黒字に転じた。貿易収支が+163億ドルの大幅な黒字になったことに加え、第二次所得収支も+105億ドルと黒字を維持したことが要因。
- 貿易収支は輸出の回復により大幅な黒字に。第二次所得収支は海外からの送金が堅調に推移したため、黒字を維持。

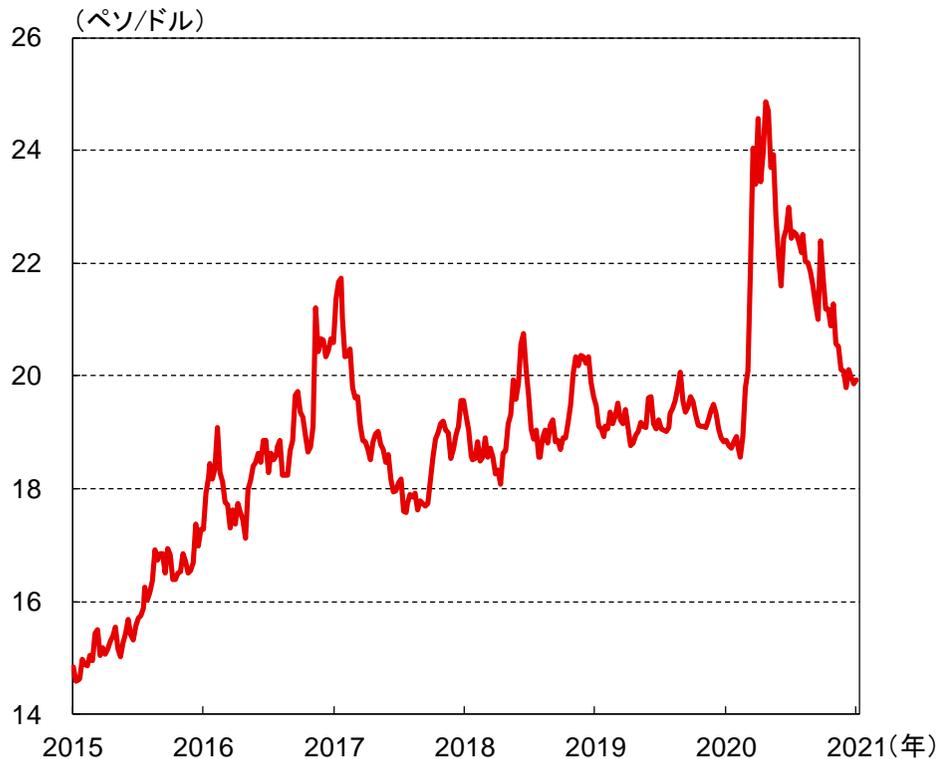


(資料)メキシコ中央銀行統計より国際通貨研究所作成

## 2. メキシコ (3) 金融市場

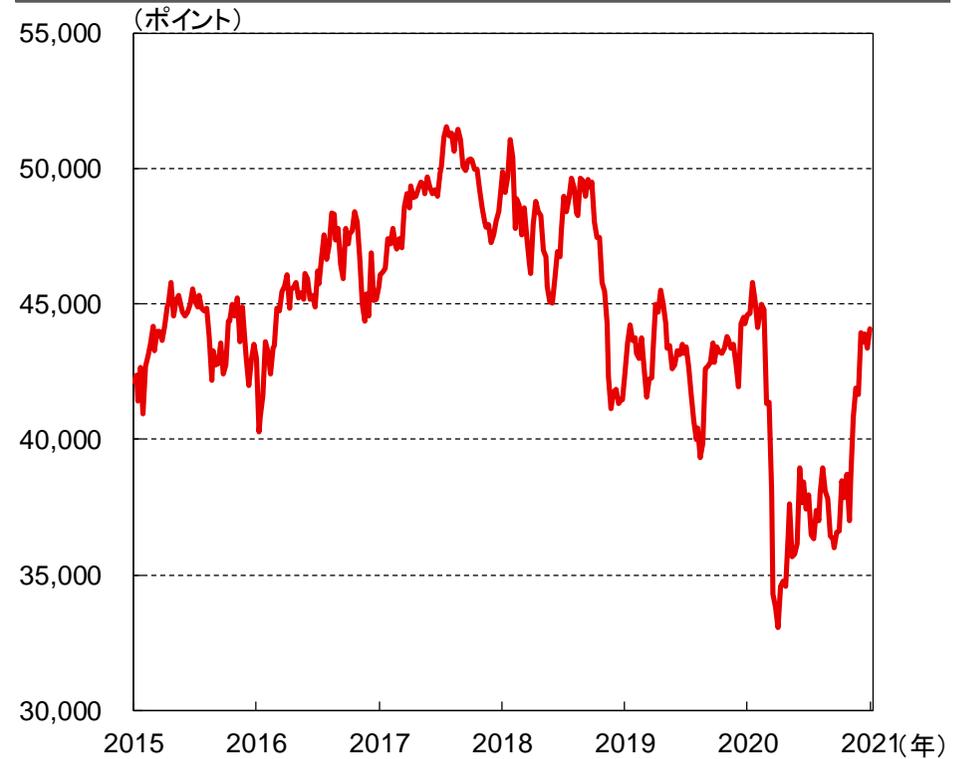
- メキシコペソの対ドル相場は2020年3月に急落して以降は、同7月のUSMCAの発効、同11月の米国大統領選を巡る不透明感後退などが好感され、持ち直し基調に。足元はコロナ禍前と同水準の20ペソ前後で推移。
- メキシコ中銀は昨年、7回に亘り累計300ベースポイントの利下げを実施、足元の政策金利は4.25%。中銀は昨年12月の会合で政策金利の維持を決定したが、声明では短期的・中期的な景気下振れリスクに備える姿勢を強調。
- ボルサ指数は、米国大統領選を巡る不透明感の後退を受けて大幅に上値し、足元では44,000ポイント近辺で推移。

メキシコペソ(対米ドル)の推移



(資料) Thomson Reuters Datastreamより国際通貨研究所作成

株価(ボルサ指数)の推移



(資料) Thomson Reuters Datastreamより国際通貨研究所作成

## 2. メキシコ (4) 経済・金融概況

### メキシコの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2017	2018	2019	19/10-12	20/1-3	4-6	7-9	20/7	8	9	10
実質GDP成長率(前年比、%)	(2.1)	(2.2)	(▲0.1)	(▲0.6)	(▲1.4)	(▲18.7)	(▲8.6)				
鉱工業生産(前期比、%)○	(▲0.1)	(0.4)	(▲1.7)	(▲1.8)	(▲0.3)	(▲23.7)	(22.0)	(7.1)	(3.3)	(0.6)	(2.0)
自動車生産台数(千台)	3,932	3,908	3,767	836	908	265	890	295	293	301	348
自動車販売台数(千台)	1,530	1,422	1,315	362	297	140	228	73	77	78	84
原油産出量(千バレル/日)*	2,227	2,072	1,920	1,930	1,981	1,902	1,887	1,854	1,902	1,904	1,869
(前年比、%)	(▲9.4)	(▲7.0)	(▲7.4)	(▲1.0)	(3.6)	(▲0.4)	(▲2.1)	(▲2.5)	(▲1.3)	(▲2.6)	(▲1.6)
原油輸出価格(米ドル/バレル)	46.4	61.6	55.5	51.9	39.2	24.5	38.0	36.6	39.1	38.3	36.9
失業率(%)○	(3.4)	(3.3)	(3.5)	(3.4)	(3.5)	(4.8)	(4.9)	(5.1)	(4.9)	(4.8)	(4.7)
消費者物価上昇率(前年比、%)	(6.0)	(4.9)	(3.6)	(2.9)	(3.4)	(2.8)	(3.9)	(3.6)	(4.0)	(4.0)	(4.1)
輸出(FOB)(億ドル)	4,094	4,507	4,607	1169.7	1085.2	745.3	1111.9	356.6	369.8	385.5	419.4
(前年比、%)	(9.5)	(10.1)	(2.2)	(▲0.5)	(0.4)	(▲37.5)	(▲4.5)	(▲8.9)	(▲7.7)	(3.7)	(2.9)
輸入(FOB)(億ドル)	4,204	4,643	4,553	1,137.6	1,048.0	755.9	948.9	298.6	308.6	341.6	357.2
(前年比、%)	(8.6)	(10.4)	(▲1.9)	(▲5.9)	(▲4.6)	(▲33.8)	(▲19.2)	(▲26.1)	(▲22.2)	(▲8.5)	(▲13.8)
経常収支(億ドル)	▲204	▲253	▲44	31.7	▲44.7	▲1.2	175.0				
資本収支(億ドル)	1	▲1	▲1	▲0.1	▲0.1	▲0.1	▲0.1				
対外準備(億ドル)◎	1,728	1,748	1,809	1,809	1,855	1,896	1,940	1,926	1,933	1,940	1,944
ベースマネー(億ペソ)◎	15,459	16,742	17,425	17,425	17,705	18,571	18,983	19,147	19,149	18,983	19,204
政策金利◎	(7.25)	(8.25)	(7.25)	(7.25)	(6.50)	(5.00)	(4.25)	(5.00)	(4.50)	(4.25)	(4.25)
対米ドル為替相場◎	19.57	19.69	18.88	18.88	23.46	23.11	22.08	22.19	21.89	22.08	21.28
株価指数(ボルサ指数)◎	49,354	41,640	43,541	43,541	34,555	37,716	37,459	37,020	36,841	37,459	36,988

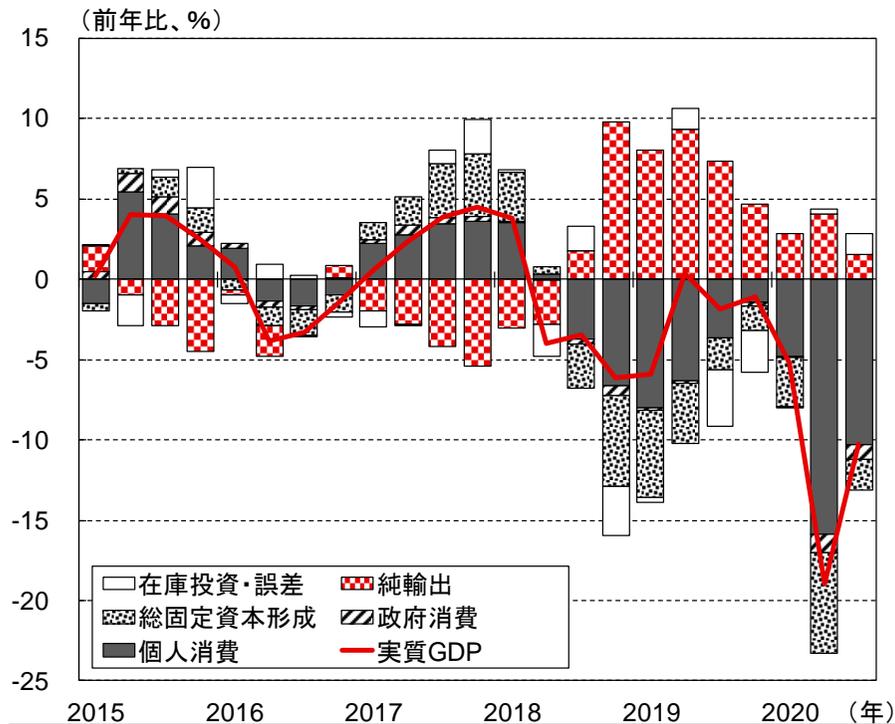
(注)\*印:期中平均値、◎印:期末値、○印:季節調整値

(資料)メキシコ中銀、国立統計地理情報院(INEGI)、PEMEX、Thomson Reuters Datastreamより国際通貨研究所作成

### 3. アルゼンチン (1) 景気概況

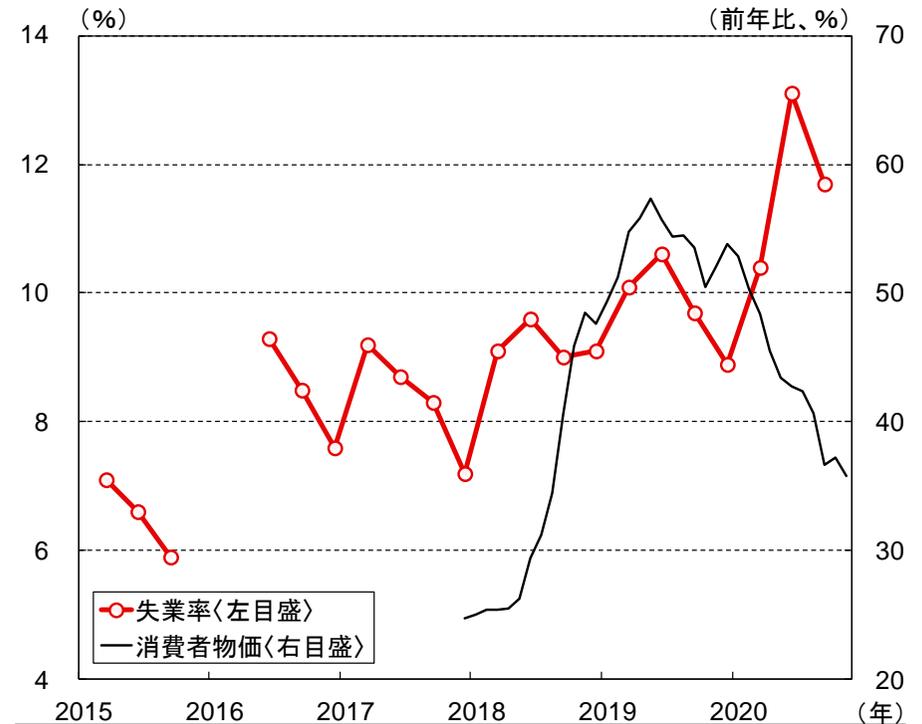
- 2020年7-9月期の実質GDP成長率は前年比▲10.2%と、5四半期連続でマイナス。需要項目別に寄与度をみると、内需のマイナス寄与が続いたことに加え、純輸出が同+1.5%ポイントと前期からプラス寄与が縮小。
- 昨年11月の消費者物価上昇率は前年比+35.8%と依然として高水準。
- 昨年7-9月期の失業率は11.7%と前期から改善がみられたが、コロナ禍前に比して依然高水準。

実質GDP成長率の推移



(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国通貨研究所作成

失業率と消費者物価上昇率の推移



(注)1.失業率の2015年第4四半期、2016年第1四半期は未発表。

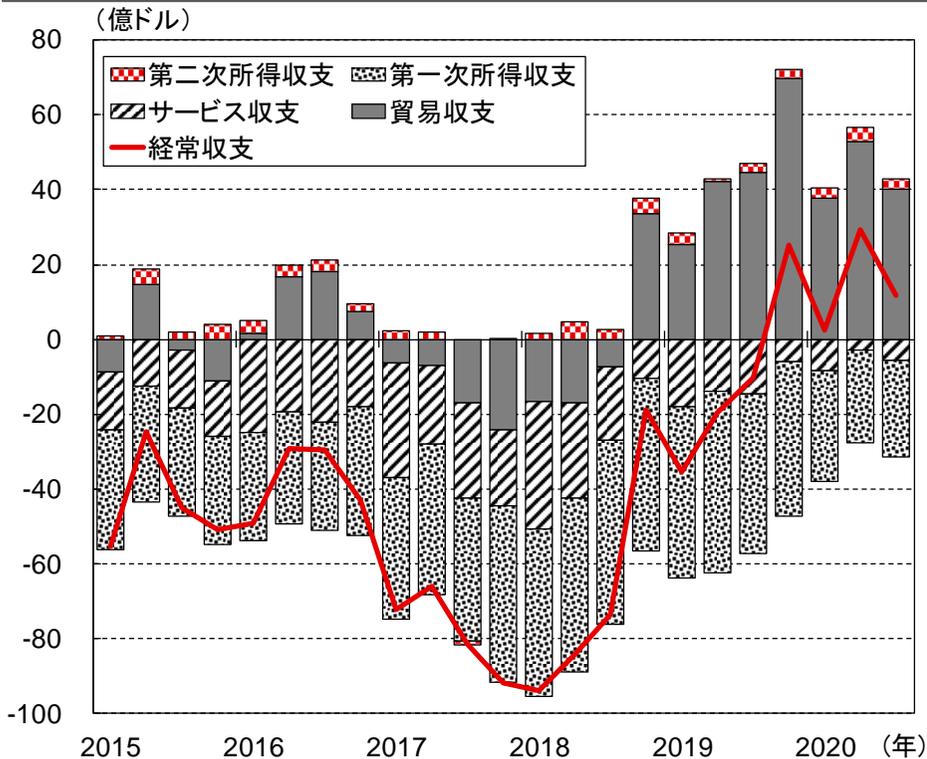
2.消費者物価指数の現行統計は2016年12月から公表。

(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国通貨研究所作成

### 3. アルゼンチン (2) 経常収支・外貨準備高

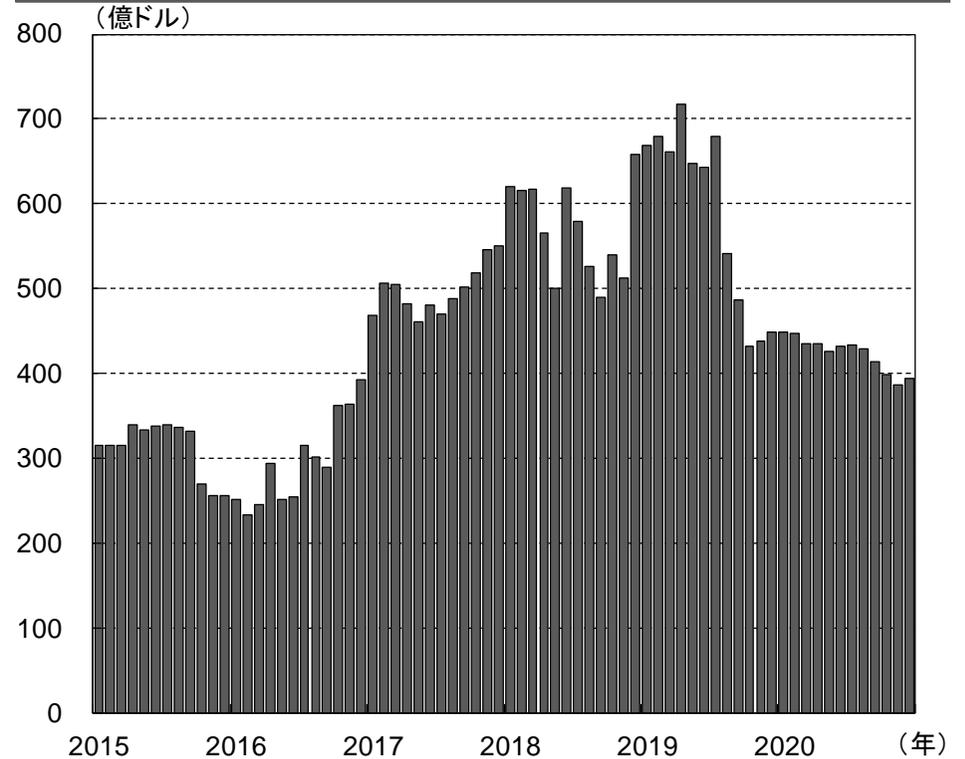
- 2020年7-9月期の経常収支は+12億ドルと前期から黒字幅が縮小。
- 景気の低迷から輸入はコロナ禍前から減少基調にあるが、昨年7-9月期はやや持ち直し、貿易収支の黒字幅が縮小。
- 昨年10月の外貨準備高は394億ドルと前月比+8億ドルの増加。中銀は9月から徐々に外貨売りのポジションを減らし、外貨準備高の減少に漸く歯止めが掛かってきたが、依然として慢性的な外貨不足が継続。

経常収支の推移



(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

外貨準備高の推移

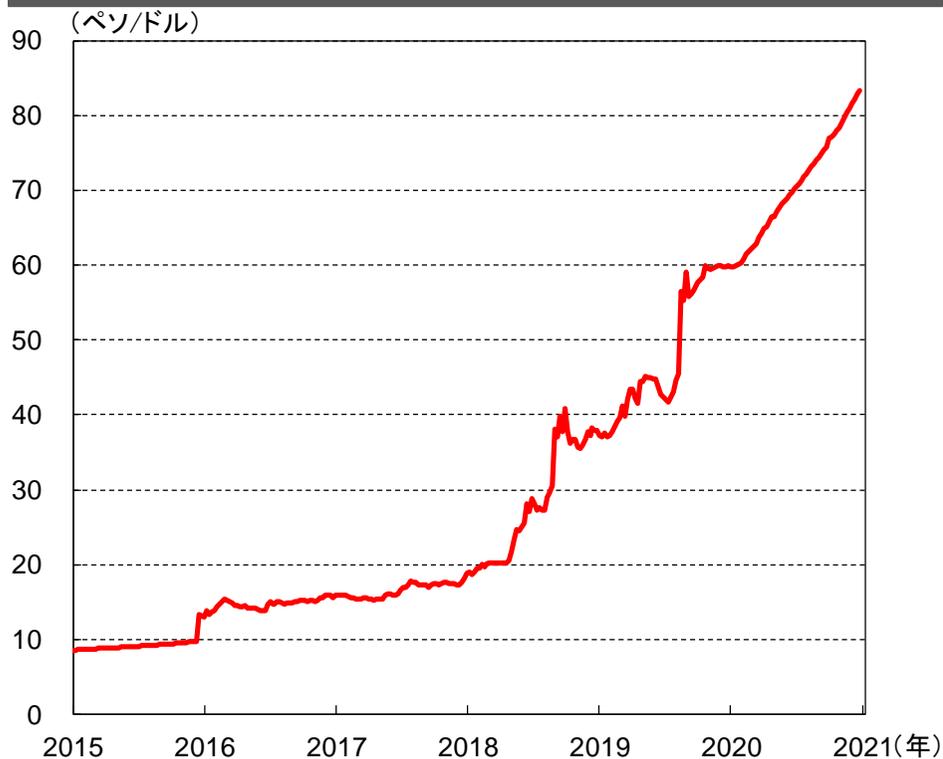


(資料)アルゼンチン中央銀行統計より国際通貨研究所作成

### 3. アルゼンチン (3) 金融市場

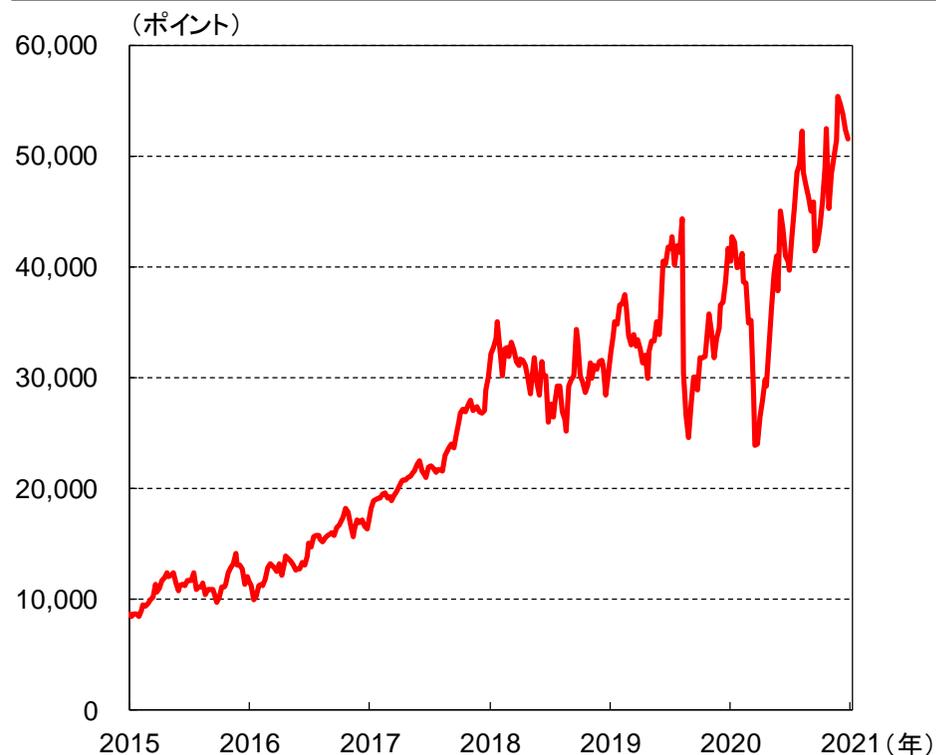
- アルゼンチンペソの対ドル相場は、2020年初の60ペソ前後からほぼ一貫して下落を続け、足元では85ペソ前後と史上最安値圏で推移。
- 中銀は、政策金利を2018年8月の83%から段階的に引き下げており、足元では38%。
- メルバル指数は昨年3月以降は堅調に推移し、11月末に55,000ポイント超の過去最高値を記録。足元でも51,000ポイント前後の高値圏にて推移。

アルゼンチンペソ(対米ドル)の推移



(資料) Thomson Reuters Datastream より国際通貨研究所作成

株価(メルバル指数)の推移



(資料) Thomson Reuters Datastream より国際通貨研究所作成

### 3. アルゼンチン (4) 経済・金融概況

#### アルゼンチンの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2017	2018	2019	19/10-12	20/1-3	4-6	7-9	20/7	8	9	10
実質GDP成長率(前年比、%)	(2.8)	(▲2.6)	(▲2.1)	(▲1.1)	(▲5.2)	(▲19.0)	(▲10.2)				
鉱工業活動指数(前年比、%)	(2.5)	(▲4.6)	(▲6.2)	(▲1.6)	(▲5.8)	(▲22.0)	(▲3.3)	(▲6.6)	(▲7.0)	(3.7)	(▲2.9)
建設活動指数(前年比、%)	(13.5)	(1.9)	(▲7.8)	(▲7.0)	(▲27.5)	(▲46.5)	(▲11.5)	(▲12.9)	(▲17.6)	(▲3.8)	(▲0.9)
自動車生産台数(千台)	472	467	316	73	66	20	79	21	26	32	29
自動車販売台数(千台)	884	682	372	81	72	51	86	22	28	35	33
失業率(%)	(8.4)	(9.2)	(9.8)	(8.9)	(10.4)	(13.1)	(11.7)				
消費者信頼感指数	45.6	37.7	39.3	42.5	42.3	39.1	39.9	38.2	41.3	40.3	38.8
消費者物価上昇率(前年比、%)	(28.6)	(36.3)	(53.7)	(52.2)	(50.4)	(43.9)	(39.8)	(42.4)	(40.7)	(36.6)	(37.2)
輸出(FOB)(億ドル)	586	618	651	172	132	142	146	49	49	47	47
(前年比、%)	(1.3)	(5.4)	(5.4)	(6.7)	(▲6.8)	(▲14.7)	(▲15.2)	(▲16.3)	(▲11.3)	(▲18.0)	(▲20.7)
輸入(COF)(億ドル)	669	655	491	107	99	94	111	35	35	41	40
(前年比、%)	(19.8)	(▲2.2)	(▲25.0)	(▲20.1)	(▲18.6)	(▲27.7)	(▲16.7)	(▲29.6)	(▲20.3)	(3.2)	(▲2.8)
貿易収支(億ドル)	▲83	▲37	160	65	33	48	35	15	14	6	7
対外準備(億ドル)◎	551	658	448	448	436	432	414	434	428	414	399
ベースマネー(億ペソ)◎	10,011	14,090	18,954	18,954	22,921	21,645	23,937	24,289	22,872	23,937	22,251
対民間部門貸出量(億ペソ)◎	17,012	23,238	28,242	28,242	29,449	31,901	33,941	32,547	33,438	33,941	35,116
(前年比、%)	(51.3)	(36.6)	(21.5)	(21.5)	(20.8)	(29.3)	(24.8)	(28.9)	(19.6)	(24.8)	(26.2)
経常収支(億ドル)	▲312	▲270	▲40	25	3	29	12				
対米ドル為替相場◎	18.83	37.66	59.87	59.87	64.39	70.45	76.17	72.25	74.18	76.17	78.34
株価指数(メルバル指数)◎	30,066	30,293	41,671	41,671	24,384	38,687	41,261	49,254	46,835	41,261	45,290

(注)\*印:期中平均値、◎印:期末値

(資料)アルゼンチン中銀、国家統計センサス局、経済省、アルゼンチン大学、OECD、Thomson Reuters Datastream より国際通貨研究所作成

---

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当部はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。

会社名：株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室  
〒100-8388 東京都千代田区丸の内2-7-1

照会先：国際通貨研究所 森川 央 morikawa@iima.or.jp  
川嶋 真奈 mana\_kawashima@iima.or.jp